六曜と迷信・慣習

～ 私が信じているからあなたも……？ ～

問教育委員会事務局人権・同和教育係　☎0943-32-0093

「迷信」といわれたら何を思い浮かべますか？

「4（死）と9（苦）は縁起が悪い数字」「湯呑みの中に茶柱が立つと縁起がよい」「雷が鳴ったらへそを隠す」など、日本には多くの迷信があります。言葉の語呂合わせでできたもの、故事に由来するもの、自然事象が根拠となるものなど、さまざまです。

その多くは科学的根拠がないにもかかわらず、長い歴史の中で慣習として日常生活で使い続けられてきました。そのため、迷信のとおりに行動しないと非難や差別を受けてしまうこともあります。

六曜とは

「迷信」「慣習」の中には「死」に関するものが多くあります。こんな言葉を聞いたことはありませんか？「明日は友引だから葬式はしないほうが……」。これは「六曜」といい、暦の中でも有名な暦注の一つです。六曜には「先勝」「友引」「先負」「仏滅」「大安」「赤口」の六種があります。鎌倉時代に中国から伝わり、時が過ぎる中、読みや意味合いが変わり、江戸時代後期にこの形ができあがったといいます。仏事と関連があるようにみえますが、仏教との関係はありません。以前は勝負ごとの吉兆を占うものとして使われていたようです。

「友引」はもともと「共引」で「引き分け」を意味していました。ところが陰陽道にある「災いが友に及ぶ」とする「友引日」や「友曳」などの考えと混同される中で、文字や意味が変わり「友引については葬儀を避ける」という考えになったといわれています。

明治政府は「吉凶付きの暦注は迷信である」として、吉凶に関する暦注を一切禁止しました。しかし暦注の廃止は人々の反発を招き、かえって重視されるようになったといいます。

旧暦では、カレンダーがなくても毎日の六曜がわかるのに対し、現在はカレンダーがないと六曜がわかりません。「六曜」のある程度の規則性や神秘性、気軽に使えるということから、第二次世界大戦後、急速に復活していったといわれています。

迷信・慣習は個人の範囲で

家族を亡くした人が「その日だったら多くの人が会葬できるから」と葬式を「友引」の日に行いました。しかし親せきからは「葬儀は友引の日に行うものではない」と言われたそうです。

「昔からしていることだから」「誰もがしていることだから」などの理由で、迷信や慣習を何の疑問ももたずに受け入れてしまったり、間違いに気づかなくなったりすることがあります。ほかの人に押しつけてしまうことが、相手の人権を侵害することにもなりかねません。

迷信や慣習をむやみに信じるのではなく、なぜできたのかを知り、自分自身の判断で行動することが必要ではないでしょうか。

六曜はどうやって決めているの？

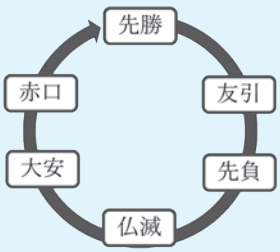
明治時代の初めまでは太陽暦（現在の暦）ではなく、月の満ち欠けを基にした太陰暦（旧暦）でした。旧暦では毎年1月1日を「先勝」、次の日を「友引」と六種が順番に繰り返されています。旧暦の「月の数字」と「日の数字」の和を「6」で割ると、その余りの数字で六曜を知ることが可能です。

例）今年11/1（旧暦9/27）の六曜
（9＋27）÷6＝6余り0 → 大安

余り	0	1	2	3	4	5
六曜	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅

旧暦の毎月1日も六種の順に変わります

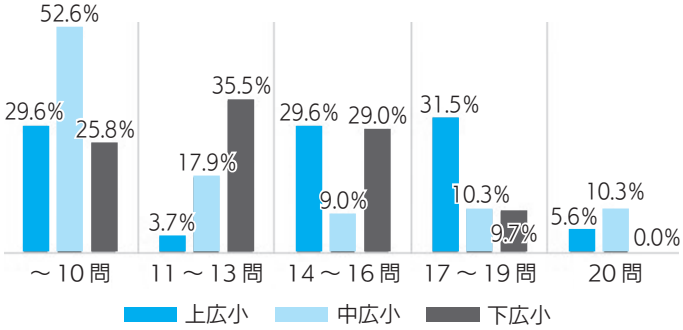
月	六曜
1月・7月	先勝
2月・8月	友引
3月・9月	先負
4月・10月	仏滅
5月・11月	大安
6月・12月	赤口



学校教育

問教育委員会事務局学校教育係　☎0943-32-0093

昨年度から全国の小学校で行われている新しい学習指導要領の一つに「伝統や文化に関する教育の充実」があります。その取り組みの一環として6月～7月、広川町では3小学校の児童を対象に、生涯学習係主催で「ひろかわまち再発見！」が行われました。これは子どもたちが各小学校に展示された20枚の写真をみて、広川町の「どこの何か」を当てるもの。正解数が多い子どもたちには、後日認定書が渡されました。



▲「ひろかわまち再発見」校区別正答率

ひろかわまち再発見！

出題された写真20枚の一部をご紹介します。

1

2

3

4

5

6

7

8

重点課題研究発表会の公開を中止します

11月4日㈭に公開を予定していた中広川小学校・広川中学校の「重点課題研究発表会」は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、非公開となりました。

解答

1当条区公民館前の警鐘台　2鬼ノ渕区の若宮神社石段　3扇島区の志賀海神社の鹿野像　4下広川小学校の時計台
5中広川小学校の時計台　6上広川小学校の時計台　7逆瀬谷区の逆瀬ゴットン館　8藤田橋のらんかん